

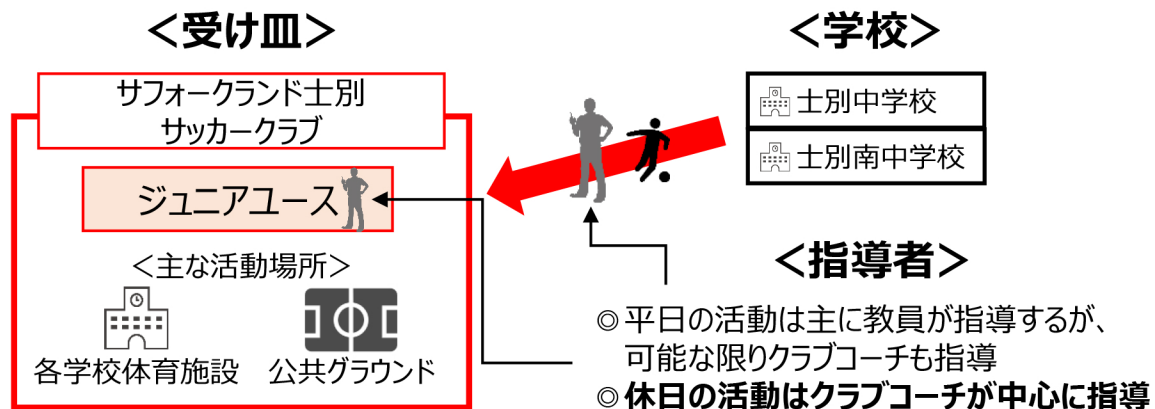
# 北海道士別市

## ◆パターンの分類

③ 既存クラブ・団体や、新設された新しい場がそれぞれの部活動の受け皿となる形

## ◆本事例の概要図

- ◎ 2校におけるサッカー部をクラブチーム化し、平日・休日ともに活動
- ◎ 学校長に部活動として了承を得ながら、地域クラブとしての活動が来ている



### <補足事項>

- ◎ サフォークランド士別サッカークラブは、もともとジュニアからシニアチームで構成されているクラブ。ジュニアチーム(少年団)は市内で同クラブのみ。
- ◎ 市内の中学校でサッカー部があるのは上図のみで、同クラブジュニアチーム出身の選手が多数。
- ◎ チーム登録上の区分はクラブチームで、2018年よりクラブユース連盟に加盟。

### <体制発足の背景>

- ◎ 部員数によっては単年での合同チーム編成を行ったり、片方のサッカー部に11名以上いる場合は合同チーム規程により組めない状況があった。
- ◎ 部員数により活動形態が左右されることなく、子供たちが安心してサッカーに取り組めるよう、2017年からクラブ化の検討を開始。クラブ役員、各学校のサッカー部顧問や学校長と協議を重ね、市の教育委員会を通して北海道教育委員会への確認を経て、クラブ化を実現。
- ◎ ジュニアチームと一緒に活動した仲間が再び集まれる場として2018年に発足。

## ◆想定課題に対する状況

**実施主体** 同クラブが主体となり、部活動をクラブ化したジュニアユースチームとして運営を行っている。

**責任・管理** 学校部活動として認められているため、責任や保険は学校側。但し、休日などの教員不在時の安全管理はクラブ側が主体。

Check!

**指導者**

平日休日共に部活動顧問とクラブコーチが協力して指導体制を構築、完全クラブ活動日を設定することで部活動顧問の負担を軽減。クラブチーム化したことで、ジュニアチームからの一貫指導体制のベースを築いている。また指導の質を高め、指導の一助となるように顧問、クラブコーチによる練習会を行いトレーニングメニューや考え方の共有を図っている。

**活動場所**

主に平日はどちらかの学校のグラウンドを使用しており、休日は公共のグラウンドなどを活用している。

**移動**

いずれの活動場所も市内でコンパクトにまとまっているため、移動負担は少ない。ただし、冬は積雪の影響でバス移動や送迎が必要。

Check!

**費用**

選手は部費以外の費用負担はない。各校の部活動予算と、クラブからの活動費補助、保護者会のサポートを予算として運営。なお、休日におけるクラブコーチへの報酬は部活動の外部コーチという扱いであるため、自治体が一部を負担。

Check!

**大会出場**

2022年度はクラブユース選手権にクラブチームとして出場。全中側の出場要件の変化に伴い、今後の出場大会を検討中。